

GE-2-i-13	C 心の科学	第2学年	後期 選択必修	1.5単位
担当者	川崎 勝義			
一般目標 (GIO)	社会心理学、感覚知覚心理学、認知心理学の分野における心理学の基本的な知識を身につけ、客観的な「こころ」の研究方法を学ぶと同時に心理学的な見方、考え方を習得する。			
到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容と説得的コミュニケーションについて説明できる。 2. 対人魅力に影響を及ぼす要因について説明できる。 3. 恋愛に関する理論を説明できる。 4. パーソナルスペースについて説明できる。 5. リーダーシップ理論について説明できる。 6. 物理量と心理量の関係について説明できる。 7. 知覚の恒常性について説明できる。 8. 「認知」について説明できる。 9. 記憶の2過程モデルを説明できる。 10. 学習の定義を説明できる。 11. 古典的条件付けを説明できる。 12. オペラント条件付けを説明できる。 			
受講心得・準備学習等	一部、アクティブラーニング形式の授業を導入するので授業中に行う指示に従って準備をすること。			
事後学習・復習等	各自でノートを作り、復習を中心に学んで欲しい。			
オフィスアワー	毎週金曜日の 12:00-13:00(心理学研究室)			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義（ただし、一部橋本メソッドによるアクティブラーニングを導入する）
回	項目	内容
1	導入・態度とは	授業の概要・オリエンテーション・「態度」とは
2	態度変容	態度の要因、説得の手法
3	対人魅力	対人魅力とは？・対人魅力に影響を及ぼす要因
4	恋愛	愛とは？恋とは？・恋愛に影響を及ぼす要因
5	パーソナルスペース	パーソナルスペース・対人距離
6	リーダーシップ	リーダーの条件・リーダーシップ
7	前半のまとめ	前半のまとめ
8	物理量と心理量	精神物理学的研究の概要
9	感覚・知覚・情報処理	感覚・知覚の生理学的メカニズム
10	知覚の恒常性	知覚・錯視・恒常性・順応性
11	記憶と学習	様々な記憶・様々な学習
12	古典的条件付け	古典的条件付け
13	道具的条件付け	道具的条件付け
14	まとめ・テスト	まとめとテスト

成績評価の方法	最後の授業中に実施するテスト（70%）、アクティブラーニング（30%）
成績評価の基準	記述式テストは70点満点、アクティブラーニングは30点満点。合計60点以上を合格とする。アクティブラーニング内の配点については授業中に説明する。
教科書	特に指定しない。
参考書など	池上知子・遠藤由美子「グラフィック社会心理学」（サイエンス社）